

表2 平成18年1月1日現在のHIV感染者及びAIDS患者の国籍別、性別、感染経路別報告数の累計<sup>\*1</sup>

診断区分	感染経路	日本国籍			外国国籍			合計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
HIV感染者	異性間の性的接触	1,366	435	1,801	272	687	959	1,638	1,122	2,760
	同性間の性的接触 <sup>*2</sup>	2,885	1	2,886	197	0	197	3,082	1	3,083
	静注薬物濫用	17	1	18	17	2	19	34	3	37
	母子感染	13	7	20	4	7	11	17	14	31
	その他 <sup>*3</sup>	79	28	107	20	14	34	99	42	141
	不明	470	60	530	270	486	756	740	546	1,286
	HIV合計	4,830	532	5,362	780	1,196	1,976	5,610	1,728	7,338
AIDS患者	異性間の性的接触	1,082	130	1,212	201	143	344	1,283	273	1,556
	同性間の性的接触 <sup>*2</sup>	888	1	889	82	2	84	970	3	973
	静注薬物濫用	8	2	10	17	0	17	25	2	27
	母子感染	9	3	12	1	4	5	10	7	17
	その他 <sup>*3</sup>	59	12	71	16	8	24	75	20	95
	不明	524	52	576	262	117	379	786	169	955
	AIDS合計 <sup>*4</sup>	2,570	200	2,770	579	274	853	3,149	474	3,623
凝固因子製剤による感染者 <sup>*5</sup>	1,417	18	1,435	-	-	-	1,417	18	1,435	

\*1 平成16年までは確定値、平成17年は平成18年1月1日現在の速報値である。

\*2 両性間性的接触を含む。

\*3 輸血などに伴う感染例や推定される感染経路が複数ある例を含む。

\*4 平成11年3月31日までの病状変化によるAIDS患者報告数154件を含む。

\*5 「血液凝固異常症全国調査」による2004年5月31日現在の凝固因子製剤による感染者数

#### 死亡者報告数

感染症法施行後の任意報告数(平成11年4月1日～平成17年12月31日)	205名
エイズ予防法 <sup>*6</sup> に基づく法定報告数(平成元年2月17日～平成11年3月31日)	596名
凝固因子製剤による感染者の累積死亡者数 <sup>*7</sup>	579名

\*6 エイズ予防法第5条に基づき、血液凝固因子製剤による感染者を除く。

\*7 「血液凝固異常症全国調査」による2004年5月31日現在の報告数